

県内学級担任紹介

教育実践が優秀で熱心に子どもたちの指導に当たっている学級担任を紹介します。
また、学校での実践や授業で活用できる工夫を併せて紹介します。

学校名：野田市立川間中学校



担任名： さきもと けいすけ
迫本 佳介

教員経験：8年目

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

生徒が「人と建設的な関係を築く力」を身につけるために、毎日実施する「帰りの会」を重要視しています。1年間を通して学級を左右する時間だと考えているからです。

授業で心掛けていること

生徒の「個々の表情」を見落とさないことを心掛けています。生徒の言動に、誰がどのように反応するかなど観察し、授業を通して生徒理解や生徒指導・支援に努めています。

私の好きな「こ・と・ば」

「人は繰り返し行うことの集大成だ」古代哲学者アリストテレスの言葉です。習慣が人をつくる…自分に言い聞かせています。

【他人との違いを感じ、認め合うため】

本校の帰りの会は20分間で行います。個々の育成、人間関係づくり、集団づくり、活動づくりなど、学級経営において重要な時間です。帰りの会のねらいは大きく分けて2つ。自治的で主体的な学習集団、生活集団を年間の見通しの中で育てること、そして互いを大切にし合い、認め合う中で、「生きる力」を鍛え育てる話し合い活動をするからです。

「人間関係づくり」「機能性」の2つの意義から班で会議することを前提としています。生徒同士が他者の意見を聞き、取り入れ、衝突する中で集団、個々が育っていく様子が、帰りの会に詰まっています。求める姿になるまで時間はかかりますが、学級経営において無くてはならない時間だと考えます。



帰りの会にて積極的な発言と他者の意見を聞き、取り入れている様子